

広域降灰対策のための降灰情報の把握・共有に関する実証研究事業

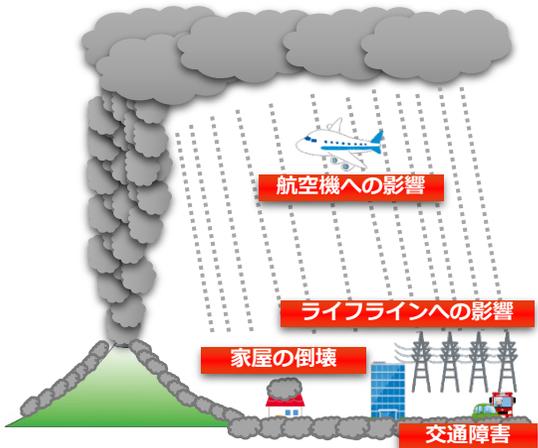
実施主体：文部科学省
 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)
 事業費：2億円
 対象事業：調査研究事業

事業目的

○内閣府防災が策定した「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」に基づき、国、地方公共団体等が**富士山などの大規模噴火時に降灰の状況を把握・共有**するために必要な機能等の調査研究を行い、測定者によらず一定の品質を保つための**降灰量測定データ入力アプリ及びデータ共有プラットフォームの開発**ならびに関係省庁、地方公共団体及び研究機関の協力による検証を実施し、降灰情報共有体制の事前構築に貢献します。

事業概要

共同実施府省庁：内閣府防災（調査・企画担当）
 気象庁
 連携先：国土交通省、東京都



大規模噴火による広域降灰が発生した際、住民の安全確保やライフライン等の復旧など、降灰量に応じた防災対応を行うため、降灰状況を把握・共有できるシステムを開発

<事業スキーム>



実施イメージ

国・地方公共団体等

降灰量調査

→

降灰データの登録

- 既存のJVDNシステム(専門家向け)に加え、非専門家も速やか、確実かつ簡便に登録できる仕組みが必要。

データ集約アプリ開発

ユーザー名：防災科研火山

資料取扱場所

調査日時

調査経緯

調査経緯

調査日時

降灰厚さ (mm)

降灰有無

コメント

【入力項目例】

- ・場所
- ・日時
- ・降灰厚
- ・写真

降灰データ共有プラットフォーム

地図上で各地点の降灰厚を色分け

- JVDNシステムを基にしたデータ共有プラットフォームを整備
- 生データの他、関係機関による情報発信や災害対応にすぐに活用できる情報プロダクツ※も生成
- 各防災システムにデータ共有

※利用者のニーズに合わせて、調査データに災害対応に活用可能な価値を付加した情報

本事業により得られる効果

降灰情報共有体制の事前構築
 災害時の情報発信・
 災害対応に活用

情報プロダクツ
提供

連携
連携検討

SIP4D
SOBO-
WEB